

令和4年度日本語学校教育研究大会実施要項

1 趣 旨

一般財団法人日本語教育振興協会維持会員及び準会員機関に勤務する教職員等を対象として、日本語学校教育のより一層の充実並びに日本語教育機関としての社会的地位の確立を目指し、各機関で展開されている豊かな教育実践を機関を超えて共有することを通して教職員の資質の向上を図ります。

2 実施方法 オンライン開催

3 日程

2月18日(土)

10:00～10:30	開会挨拶・大会趣旨説明
10:30～11:30	文化庁講演
11:30～12:30	ウィズコロナにおけるオンライン日本語教育実証事業に関する報告
	昼休憩
13:30～16:00	鼎談
16:10～17:00	企業・団体展示ブース
17:10～18:00	交流会

※日程等は変更になる可能性があります。ご了承ください。

4 参加資格等

- (1) 一般財団法人日本語教育振興協会維持会員及び準会員機関に勤務する教職員、その他関心のある者としてします。
- (2) 1機関から多数の教職員が参加していただいて差し支えありません。ただし、定員(450人)を超える場合は、お断りする場合がありますのでお含みおきください。両日又はいずれか1日のみの参加でも結構です。

5 参加費

維持会員及び準会員機関	2,200円(税込)/1人当たり
賛助会員	3,300円(税込)/1人当たり
その他の教育機関、個人	4,400円(税込)/1人当たり

団体割引：6名につき1名無料

6名分(同一機関所属)まとめてお申込みの場合、6人目の参加費が無料になります。

※複数回に分けて申し込んだ人数を合算して団体割引を利用することはできません。

※団体割引をご利用の場合は、必ず **google フォーム** 又は **メール用参加申込書** からお申込みください。

日本語学校制度化時代 —わたしたち「日本語教師」はどう生きる?—

大会委員長 佐久間みのり（学校法人石川学園横浜デザイン学院）

令和の幕開けとともに始まった新型コロナウイルス感染症の影響により、今まで当たり前であったものが一変し、授業も、学校も、教師も、職員も、学習者も、それぞれが変化を迫られる日々でした。本研究大会も、以前は夏季休業期間の前後である7月から8月に開催をしておりましたが、コロナ禍での大会の実施形態を模索した結果、年度末にオンラインで開催するという変化が起きました。令和二年度、三年度の大会テーマも『日本語学校教育の挑戦—with コロナ・post コロナ・そしてNew normalへ』と、新しい時代へともに向かい、コロナ後の時代と一緒に作っていかうという一日本語教師である大会委員の気持ちを込めたものでした。しかし、今年度入国制限が緩和されたことにより日本語学校には留学生とともに、以前と同じような慌ただしい毎日が戻り、その対応に追われる日々を多くの日本語教師が過ごしているのではないのでしょうか。

一方で、この間の日本語学校を取り巻く別の変化について、私たちは向き合っていく必要があります。それは日本語学校や日本語教師に関する法整備です。この制度化時代に私たち日本語教師はどう生きていくべきか、私たちは今こそこれまでの教師としての自分自身の在り方や学校での日本語教育実践を振り返る必要があると感じます。そのような理由から本大会の新しいテーマを『日本語学校制度化時代—わたしたち「日本語教師」はどう生きる?』といたしました。

本大会の午前中は、文化庁から講師をお招きし日本語教育施策の動向についてお話し頂きます。また同時に文化庁の令和三年度補正予算事業として実施された「ウィズコロナにおけるオンライン日本語教育実証事業」について、実施校や実施団体から実施報告をしていただき、コロナ禍で残されたオンライン教育とのこれからの向き合い方を考えていきたいと思っております。

午後からは制度化時代に私たち日本語教師が持つべき理念や在り方のきっかけになる視点について、早稲田大学の舘岡洋子氏、東京大学の宇佐美洋氏、カイ日本語スクールの山本弘子氏からお話しいただきます。またその後は参加者同士が大会1日目の様々な視点について語り合えるセッションも予定しております。

なお、これまで日本語学校教育研究大会の会期は2日間でしたが、夏季開催への移行期間としてこの2月に単日開催を1回、続けて8月にも単日開催を行います。また、今後の開催方法についてはオンラインだけではなく対面・ハイブリッドの可能性も含め検討をしております。

New normal を経て新しい時代が訪れようとしています。新しい時代と一緒に迎える仲間とともに、新時代の日本語学校を考える場にしていきましょう。

令和4年度日本語学校教育研究大会日程

日程 : プレセッション 令和5年2月10日(金)
本大会 令和5年2月18日(土)

テーマ : 日本語学校制度化時代 -わたしたち「日本語教師」はどう生きる？-

プレセッション 2月10日(金)

13:00~17:00	日本語教師のための進路説明会
-------------	----------------

本大会 2月18日(土)

定員 450人

10:00~10:30	開会挨拶 一般財団法人日本語教育振興協会理事長 佐藤次郎 来賓挨拶 文部科学省 大会趣旨説明 大会委員長 佐久間みのり(学校法人石川学園横浜デザイン学院 日本語学科教務主任)
10:30~11:30	講演「文化庁の日本語教育施策の動向」 課長補佐 堀敏治(文化庁国語課)
11:30~12:30	報告「ウィズコロナにおけるオンライン日本語教育実証事業」について 1) 運営事務局 凸版印刷株式会社による概要報告 2) 実証事業参加校による事例発表

13:30~16:00	鼎談「これからの日本語教師に求められる専門性と主体性 -日本語学校の役割とともに-」 宇佐美洋(東京大学 大学院 総合文化研究科 教授) 舘岡洋子(早稲田大学 国際学術院 大学院日本語教育研究科 教授) 山本弘子(カイ日本語スクール 代表)
16:10~16:30	企業・団体展示ブース
16:40~17:30	交流会

※なお、日程については当日一部変更になることがあります。ご了承ください。